職 務 経 歴 書

2021年10月16日現在

氏名　NGUYEN THANH LUAN

■私の現況の概要

* 2015年、立命館アジア太平洋大学に入学するため日本に初めて来ました。4年後、経営学【会計・ファイナンス】の学位を授かって卒業しました。
* 大学卒業以来、外国人技能実習生監理団体にて通訳・翻訳の業務に勤めています。約１年前に、IT業界へキャリアチェンジしようと決心を固めた後、プログラミング及びウェブ開発の独学の道を歩み始めることにしました。
* 相当の試練を通した自分は、今の時点で、自力で機能できるウエブアプリ・レスポンシブ対応のウエブページ等を作成できるようになりました。

■活かせる経験・知識・技術

貴社の開発環境に速やかに適応して、貢献できる自分の取得したスキルは大きく分けると三つがあります：

1．大学の国際的な環境で得たこと：

* 自学自習の能力：授業で教わることだけではなく、課題についてもっと理解を深めるために積極的に関連の知識を探索したり、参考資料を熟読したり、情報収集に携わったりしていました。
* 語学の能力の向上：多国籍のコミュニティで交流していたことで日本語と英語の力を大幅に改善できました。

2．監理団体の会社で身についたスキル：

* 対人スキル：企業と実習生との面談を受ける業務で、相手の意見を傾聴して両方の妥協点に導けるまで綿密に話し合ったりというコミュニケーションスキルと交渉スキルを磨いてきました。
* 報連相：「言ったか、言わなかったか」ではなく「相手に伝わったかどうか」ということで、円滑に機能する組織で絶対に欠かさないものの一つは情報共有の能力であることを認識できました。
* 色々な問題を解決することで論理的思考スキル・ロジカルシンキングを磨いて、目標達成スキルにも繋がりました。

3．プログラミングの独学で獲得できたこと

* 最新バージョンのHTML5・CSS3のコーディングスキル・知識：レスポンシブ対応できる、様々なブラウザの種類やバージョンに対応できるウエブページ・アプリケーションの製作経験。
* Bootstrap5というデザインフレームワークでの開発経験。
* WEBページに動的要素や双方向的な処理を実装するプログラミングツールであるJavaScriptでの開発経験＋ECMAScriptの知識。
* 仮想DOMの操作、ES6モジュール、オブジェクト指向プログラミングの原理、クラスとオブジェクトコンストラクタ、非同期プログラミング等の知識。
* ReactというJavaScriptライブラリとその状態管理ライブラリであるReduxでの開発経験。Reactでシングルページアプリケーション(SPA)の開発経験。
* BaaS（Backend as a Service)であるFirebaseを使用してアプリのバックエンドサーバの構築経験。
* バージョン管理システムでソースコードの変更履歴を管理するGitの使用経験。
* Jestで単体テストの経験・知識。
* オープンソースのAPIsを使用するアプリの開発経験。
* データ構造とアルゴリズムの知識。
* 検索エンジン最適化（SEO)の基本知識。

■職務経歴

|  |
| --- |
| 2019年10月～2020年03月　　西日本ビジネスサポート協同組合（福岡県福岡市）  2020年04月～現在　コンストラクション協同組合（福岡県福岡市） |
| 事業内容：企業訪問・巡回、通訳、翻訳、一般業務 |

■テクニカルスキル

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 種類 | | 使用期限 |
| OS | Windows | 長年 |
| フロントエンド | HTML, CSS | １年 |
| Javascript | １年 |
| ReactJS, Redux | １年未満 |
| UI,UX設計 | １年 |
| Bootstrap 5 | １年 |
| バージョン管理 | Git & Github | １年 |
| ユニットテスト | Jest | １年未満 |
| バックエンド | Firebaseクラウドサービス | １年未満 |
| NPM, NodeJS | １年 |
| 開発環境 | Visual Studio Code | １年 |

■資格

|  |  |
| --- | --- |
| 普通自動車第一種運転免許 | 20xx年xx月取得 |
|  |  |
|  |  |

■自己PR

あまり、限定せずに簡潔に！

＜常に改善を心掛けた設計力＞

保険業界での営業支援システムの開発では、忙しい営業担当が社外からでも使いやすいような設計を心掛けてきました。あらかじめ変更や改修を見込んで開発に取り組み、随時修正がかけやすい設計やソースコードの記述を開発サイドへ依頼。サービス導入後も営業社員にヒアリングやアンケートを実施し、改善を繰り返すことで、結果として顧客に満足していただくことができました。

＜円滑にプロジェクトを進行させるマネジメント力＞

自社のプロジェクトメンバーだけでなく顧客先の関係者など、約xx名～xx名規模のプロジェクトを進めた経験があります。関係者が多くなるためスケジュールの遅延や認識齟齬が発生しないように、定期的に打ち合わせの機会を設けて進捗を管理。メンバーと顧客先との間に立ち、仕様や価格についても細かく調整、管理することで、大規模なプロジェクトも当初のスケジュールどおりに進めることができ、期日に遅れず納品することができました。

以上